

M4-97005C
Rev, C 平成27年1月13日

古河絶縁トロリ「セグラS」 取扱説明書

お 願 い

1. この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。特に『安全上のご注意』は、御使用前に必ず読んで正しくお使いください。
2. この取扱説明書は、最終御使用者及び保守責任者のお手元に届くように、充分御配慮ください。
3. この取扱説明書を、紛失等しないよう大切に保管願います。

古河電工パワーシステムズ株式会社
高機能製品事業部
電材製造部

お 願 い

1. この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使い下さい。特に「安全上のご注意」は、ご使用前に必ずお読みください。
2. この取扱説明書は、最終ご使用者および保守責任者のお手元に届くように、充分ご配慮ください。
3. 本書はお読みになった後もいつでも取出せる場所に大切に保管してください。

安全上のご注意

据え付け、運転、保守・点検の前に、必ず取扱説明書をすべて熟読し、正しくご使用ください。
機器の知識、安全の情報、そして注意事項のすべてについて習熟してからご使用ください。

このマニュアルは、安全注意事項のランクを『警告』、『注意』として区別してあります。
表示と意味は次のようになっています。



警告

取扱いを誤った場合に、危険な状況が起こり得て、死亡または重傷を受ける可能性が想定される場合。



注意

取扱いを誤った場合に、危険な状況が起こり得て、中程度の傷害や軽傷を受ける可能性が想定される場合、及び物的損害のみの発生が想定される場合。

なお、「注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性が有ります。いずれも重要な内容を記載しています。


本説明書に記載された内容及び確認項目において不明点、数量の不足、損傷、異常が認められた場合はすぐに弊社あるいは代理店等に御連絡ください。

1. 一般注意事項

1-1. 納入


- (1) 品物が現場に到着したら、本体、部品種類、数量を出荷明細表と照らし合わせてチェックすると共に、輸送中の損傷の有無を調べてください。損傷、数量違い等あれば弊社あるいは代理店迄、連絡してください。

1-2. 保管

 注意	温湿度の高い場所、腐食ガスのある場所での保管はしないでください。性能低下の原因になり、事故となるおそれがあり、また、機器の性能が発揮できない可能性もあります。
---	---

- (1) 保管は、40℃を超える場所を避けてください。また、湿度の高い場所を避け、水のかかる心配の無い乾燥した場所であつ他の工事などによる汚損、損傷のおそれの無い所を選んでください。また、必要に応じて防水シート等で養生してください。

1-3. 取扱い

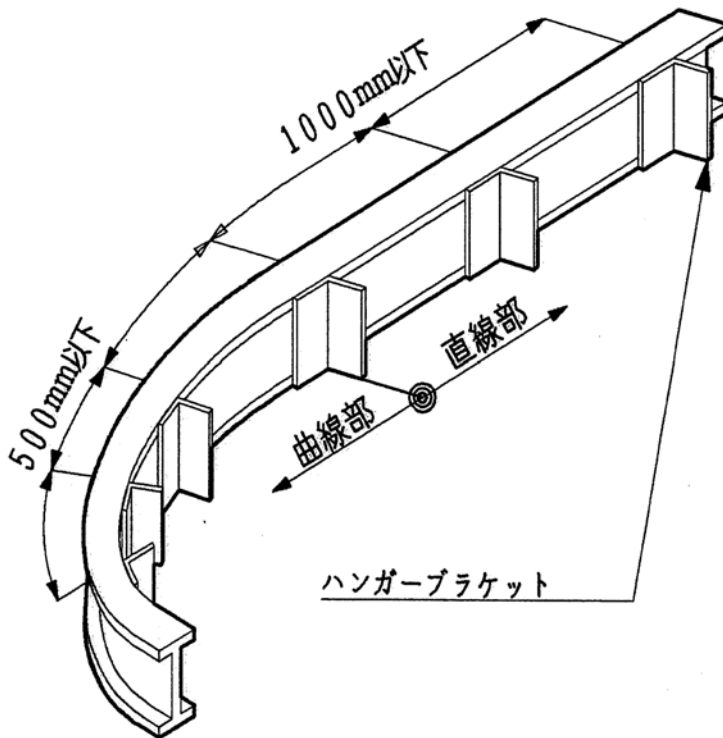
 注意	定められた方法で据え付けてください。機器の性能が発揮できない可能性があります。
---	---

- (1) 一度変形したものは、修正を加えても運転時に蛇行等となって現れますので、使用しないでください。
- (2) 工事の途中で作業を中断する時は、先端の接続部をビニールシート等で覆って、水、ほこり等が入らないよう保護してください。
- (3) 絶縁導体の定尺は、3 m又は6 mです。
安全作業や、変形防止のため、取扱いは複数人で行ってください。
- (4) 絶縁導体は油分や有機溶剤等を嫌います。
取扱い時に万一付着した場合は速やかにウエス等で除去してください。
清掃を行う場合も有機溶剤は使用しないでください。
- (5) 各部ボルト及びナットの締付けトルクは、P 17を参照して下さい。
ただし、ハンガー締付けナットの締付けはP 4と樹脂部締付けトルクリストP 17を参照のうえ、特に取扱いに注意して下さい。
- (6) 施工にあたっては電気工事士の指導又は立会いにて実施願います。

2. 施工

作業手順 1 …ハンガーブラケットの取付け

ハンガーブラケットを造営材に取付けてください。



● ハンガーブラケットの取付けピッチは、
直線部 1000mm以下、
曲線部 500mm以下
にします。

● 絶縁導体終端部のハンガーブラケットは、エンドカバーから、
150mm以下
にします。

注1) ハンガーブラケットは
L50×50×6
またはこれ以上強度のあるもの
をご使用ください。

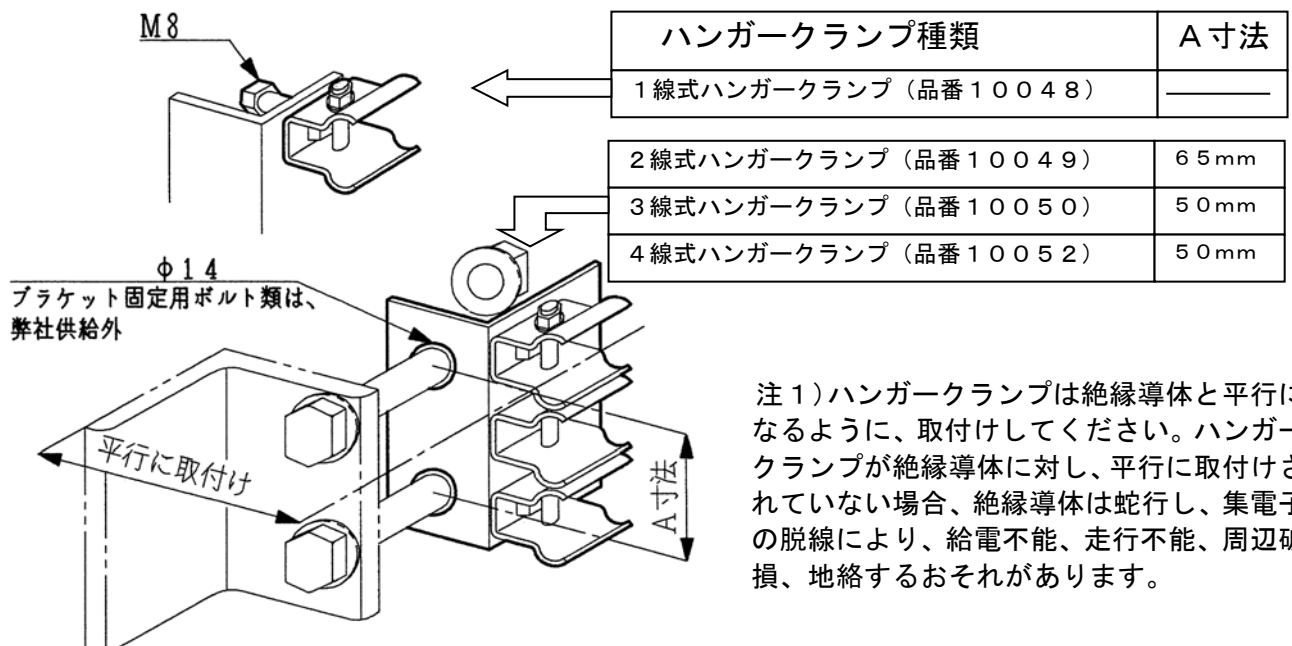
作業手順 2 …ハンガークランプの取付け



注意

ハンガークランプは絶縁導体と平行になるように取付けてください。
平行に取付けされていない場合、絶縁導体は蛇行し、集電子の脱線により
給電不能、走行不能、周辺破損、地絡するおそれがあります。

ハンガークランプをハンガーブラケットに取付けてください。



注1)ハンガークランプは絶縁導体と平行になるように、取付けしてください。ハンガークランプが絶縁導体に対し、平行に取付けされていない場合、絶縁導体は蛇行し、集電子の脱線により、給電不能、走行不能、周辺破損、地絡するおそれがあります。

作業手順 3 …絶縁導体の取付け

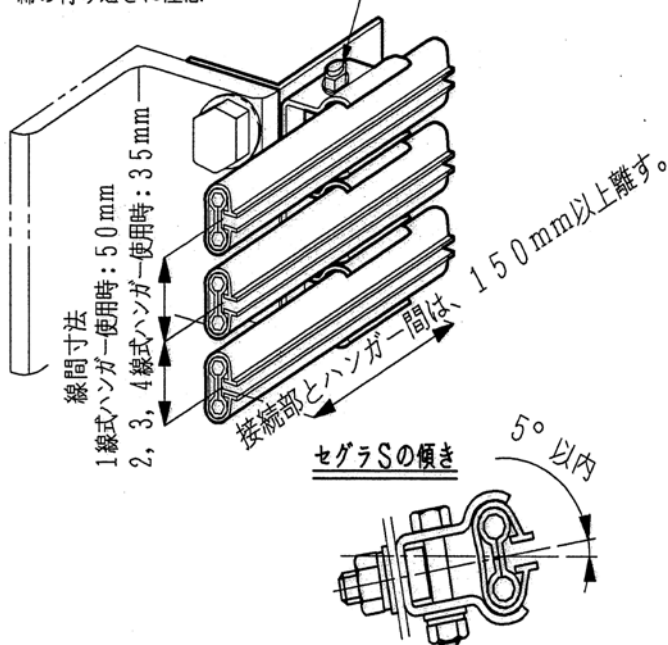


注意

ハンガークランプ締め付けナットの締め付け過ぎに注意してください。過締め付けの場合、絶縁導体は蛇行し、集電子の脱線により給電不能、走行不能、周辺破損、地絡するおそれがあります。

絶縁導体をハンガークランプに挟み込んでください。

ハンガー締め付けナット (M6)
締め付け過ぎに注意



● 曲線部がある場合、曲線部から先に取付けてください。

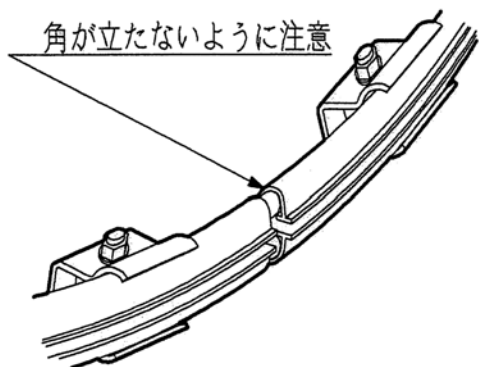
● 取付け精度は、
取付け上下左右方向 : ± 5 mm
メッセンを張って芯出しをします。

● ハンガークランプ締め付けナット (M6)の締め付けは絶縁導体を手で触って、多少「ガタ」がある程度で締め付けを終了してください。締め付け過ぎは蛇行の発生原因になりますので締め付け過ぎの場合はナットを少し緩めてください。

注1) 蛇行が発生した場合、集電子が脱線し、給電不能、走行不能、周辺破損、地絡するおそれがあります。

● 絶縁導体接続部とハンガーブラケット間は 150 mm以上離します。

作業手順 4 …絶縁導体の曲げ加工



● 曲げ半径が3 m以上の加工は現場にてハンガークランプに合わせ、絶縁導体を挟み込むだけで、充分曲がります。このとき、絶縁導体に屈曲や、変形が発生しないよう注意してください。また、曲線部では出来るだけ接続部を設けないようにしてください。

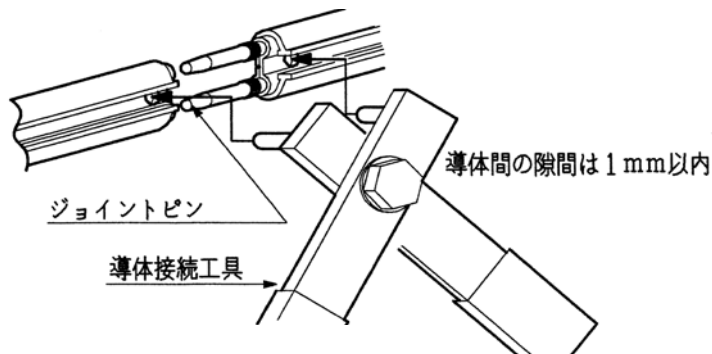
注1) 曲げ半径が3 m未満の曲げ加工は、工場加工となりますので、別途ご相談ください。

作業手順 5 …絶縁導体の接続



警告

接続は確実に行ってください。接続が不完全な場合、過熱、焼損、感電などの危険があります。また集電子の脱線により、給電不能、走行不能、周辺破損、地絡などの可能性があります。



絶縁導体を接続します。

● 専用の工具で絶縁導体相互の導体端面が密着するまで差し込みます。

注1) 絶縁導体間の隙間は1 mm以内

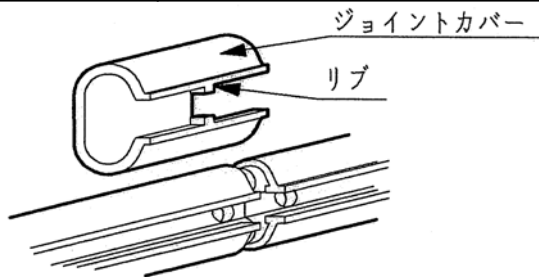
注2) 必ず専用工具を使用して下さい。

作業手順 6 …ジョイントカバーの取付け



注意

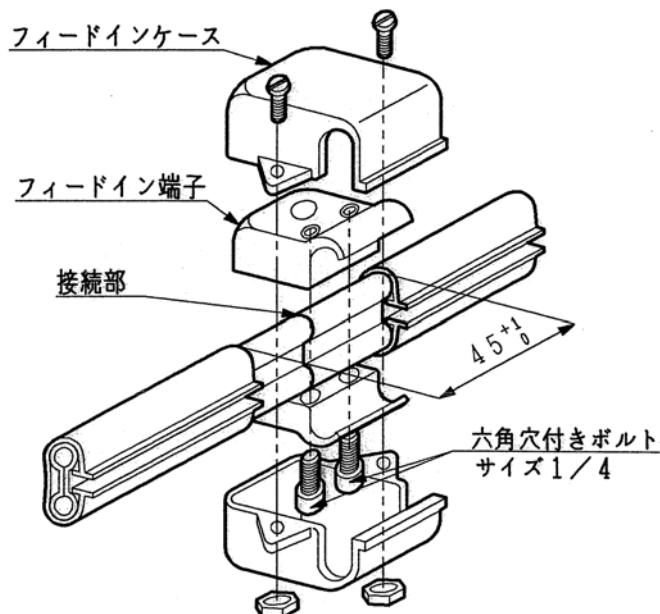
ジョイントカバーは確実に取付けてください。
取付けが不完全な場合、集電子が脱線し、給電不能、走行不能、周辺破損、地絡するおそれがあります。



●絶縁導体ジョイントカバー内部のリップが、絶縁カバー相互の間にはまり込むようにしてください。

注1) 絶縁導体は線間距離が狭い為、隣相との接続部位置をずらして取付けることを推奨します。

作業手順 7 …曲線部の接続



●スリップリング等、曲線で接続部を設ける場合、フィードインを使用します。
絶縁導体の接続部中央と、フィードインの中央を合わせ、六角レンチで締め付けます。

注1) 六角ボルトのサイズは、**1 / 4** ですので、六角レンチは事前に用意しておいてください。

作業手順 8 …フィードインの取付け



注意

フィードインの取付けは確実に行って下さい。取付けが不完全な場合、過熱、焼損、感電などの危険があります。また、集電子が脱線により、給電不能、走行不能、周辺破損、地絡などの可能性があります。



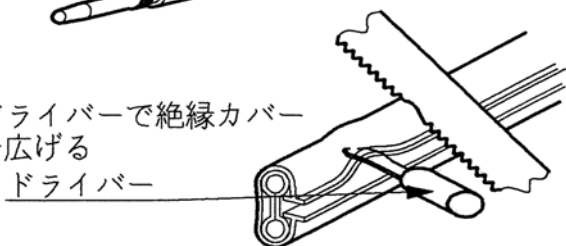
注意

絶縁カバーの面取り及びバリ取りは必ず行って下さい。面取り及びバリ取りが不完全な場合、集電子の脱線により、給電不能、走行不能、周囲破損、地絡などの可能性があります。

絶縁カバーを導体からずらす

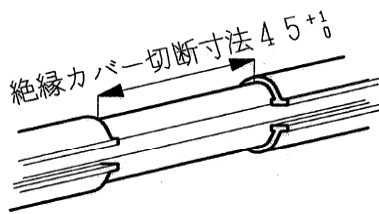


ドライバーで絶縁カバーを
を広げる
ドライバー

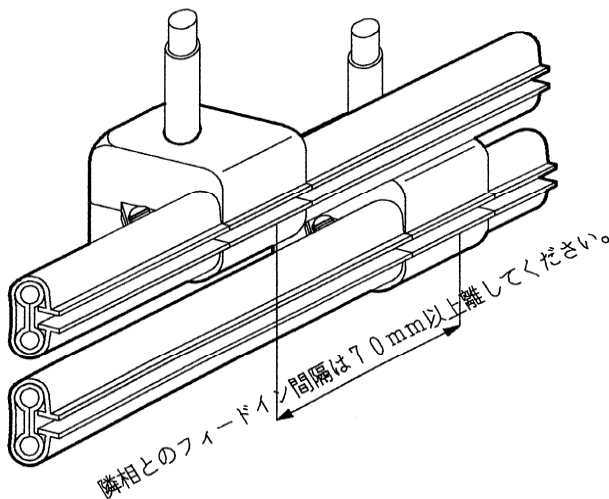
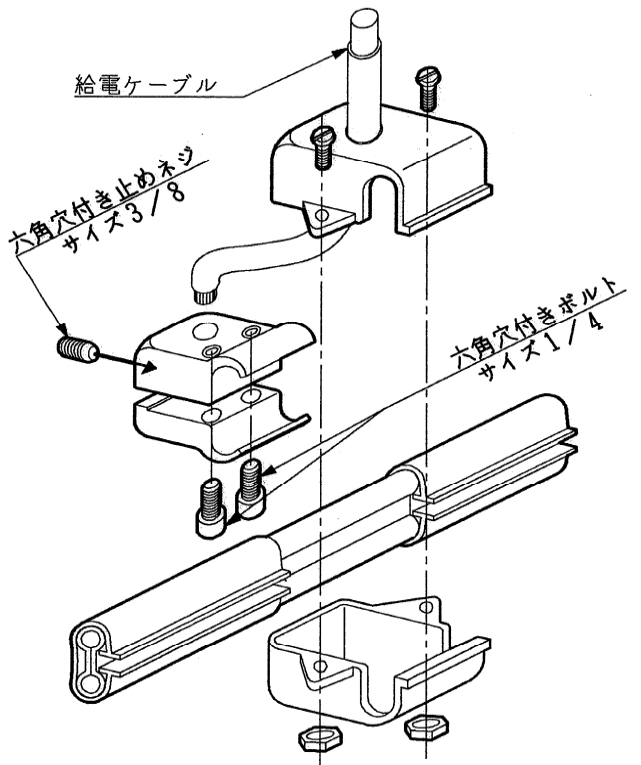
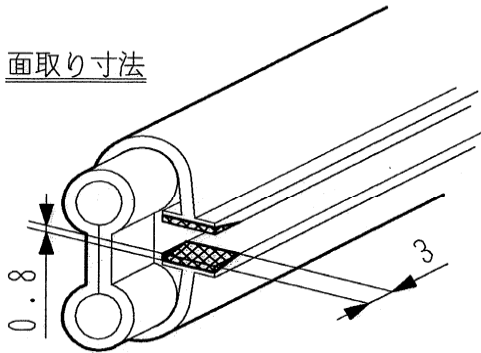


●フィードインは、ハンガーランプに取付けする前に下記の加工を行ってください。

1) 絶縁カバーを導体からずらします。
* 導体が絶縁カバーからずれない場合、絶縁カバーと導体の間にドライバー(－)を差し込み、絶縁カバーを導体より広げ、絶縁カバーのみ金鋸で切断してください。
この時、導体に損傷を与えないように注意してください。



面取り寸法



2) 外した絶縁カバーを 4.5mm^{+1}_0 になるように切断してください。

3) ずらした絶縁カバーを規定の位置に戻してください。

4) 絶縁カバー切断面内側の面取り及び、バリ取りは必ず行ってください。

5) フィードインクランプを絶縁導体に取り付けてください。

注1) 六角ボルトのサイズは、**1/4** ですので、六角レンチは事前に用意しておいてください。

6) フィードインケースのケーブル取出し口は、ケーブルサイズに合わせ、切り欠きしてください。

フィードイン適合ケーブルサイズ

最大ケーブルサイズ
60mm²

7) 絶縁導体をハンガークランプに取り付けてください。

8) 給電ケーブルを取付けしてください。圧着端子等の端末処理は不要で、ケーブルの絶縁被覆を $2.7\text{mm} \pm 1$ 皮剥し、フィードイン端子に挿入後、六角止めネジで固定してください。この時、給電ケーブルが絶縁導体に蛇行を発生させないように注意してください。

注2) 端子部の六角止めネジのサイズは、**3/8** ですので、六角レンチは事前に用意しておいてください。

9) フィードインケースを取付け、ビスでケースを固定してください。

注3) 隣相とのフィードイン間隔は70mm以上離してください。

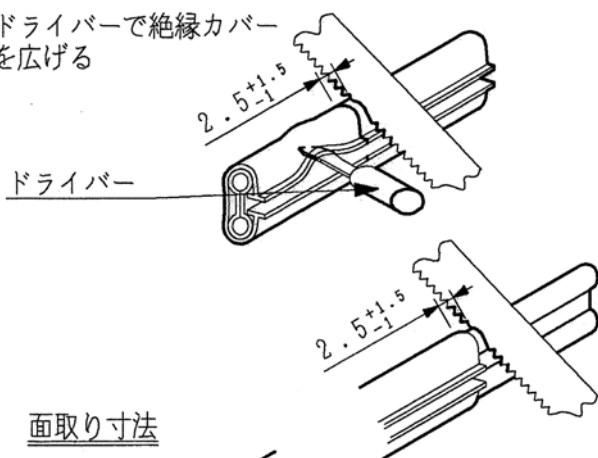
作業手順 9…短尺加工



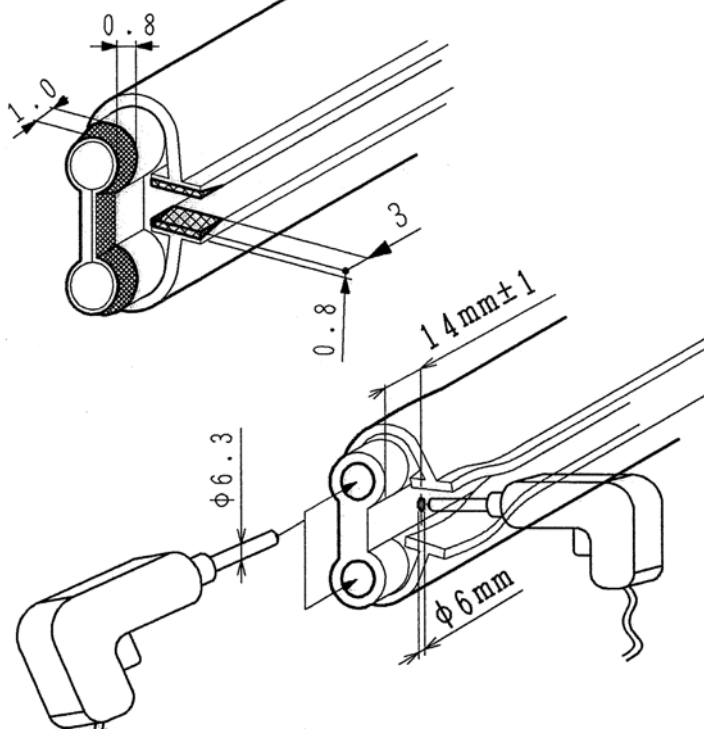
注意

絶縁カバーの面取り及びバリ取りは必ず行って下さい。面取り及びバリ取りが不完全な場合、集電子の脱線により、給電不能、走行不能、周辺破損、地絡などの可能性があります。

ドライバーで絶縁カバーを広げる



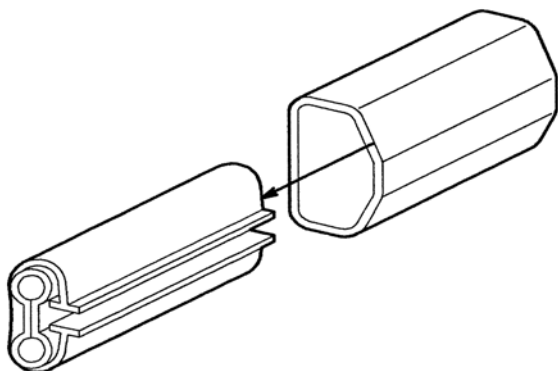
面取り寸法



- 1) 必要な長さの絶縁導体を金鋸又は、切断工具で絶縁導体摺動面に対し、直角且つ真直に切断してください。
- 2) 絶縁カバーと導体の間にドライバー（－）を差し込み、絶縁カバーを導体より広げ、絶縁カバーのみ導体端面より2.5mm程金鋸で切断してください。この時、導体に損傷を与えないよう注意してください。
- 3) 絶縁カバー切断面内側の面取り及び、バリ取りは必ず行ってください。
- 4) 絶縁カバーをドライバーで大きく広げ、導体端面より12.5mmの位置に、ジョイント工具差し込み用の穴を明けてください。
穴明け寸法………φ6mm
- 5) 導体のジョイントピン差し込み部を6.3mmのキリで深さ40mm程、穴あけ加工してください。

注1) 電気ドリルで穴あけ加工を行う場合、加工部の発熱により絶縁カバーが変形しない様に注意してください。

作業手順 10…エンドカバーの取付け



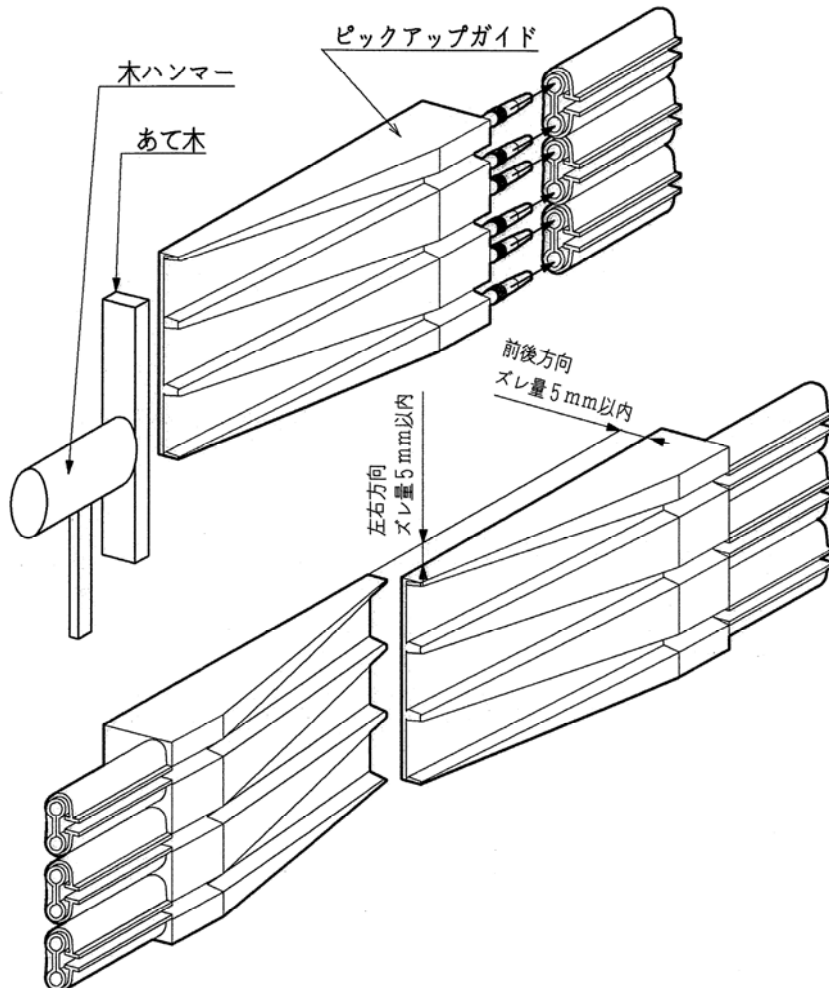
- 1) エンドカバーを取付けしてください。

作業手順 1 1 …ピックアップガイドの取付け



警告

ピックアップガイドの取付けは確実に行ってください。
取付けが不完全な場合、脱線が発生し、給電不能、走行不能、周辺破損、地絡するおそれがあります。



1) ピックアップガイドの端面にあて木をして、木ハンマーで軽く叩き、絶縁導体を取付けてください。

注1) ピックアップガイド相互の上下左右のズレ量は5mm以内にしてください。

注2) ピックアップガイドは、構造物に必ず固定してください。

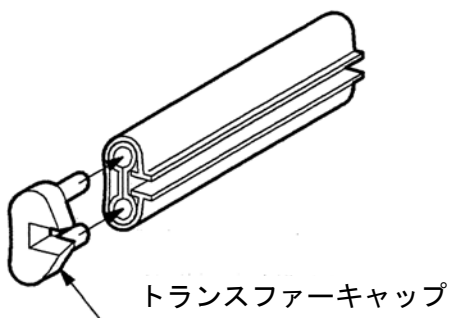
注3) ピックアップガイドの材質は樹脂です。よって取り付け時に強く叩いたりしますと破損するおそれがありますので、取扱いには注意してください。

作業手順 1 2 …絶縁区間を設ける場合



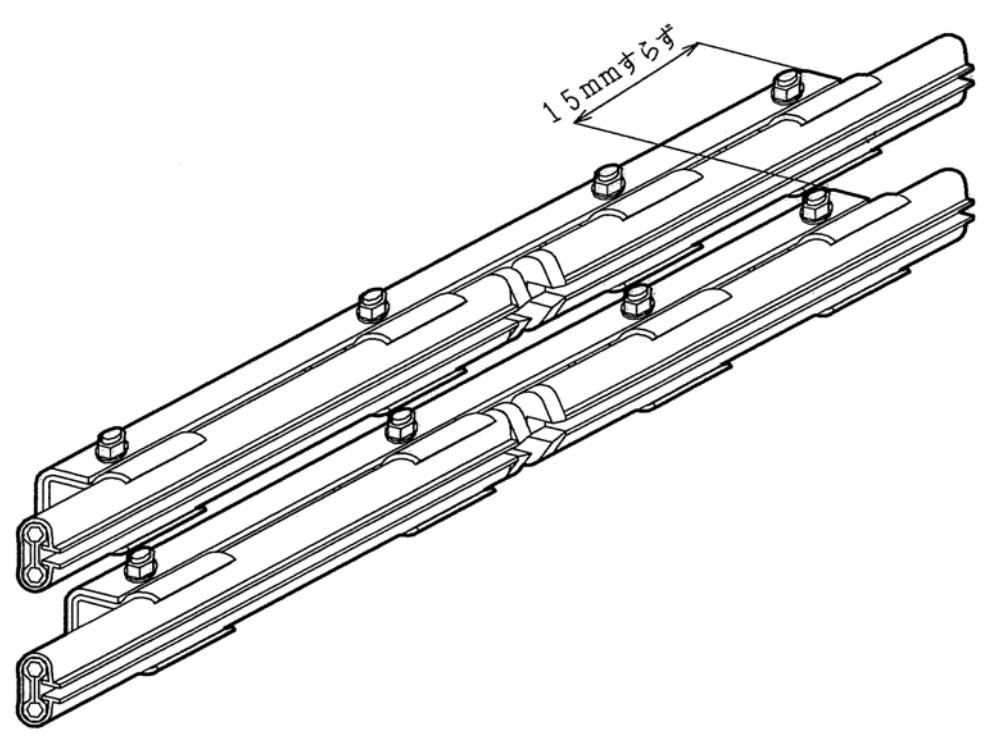
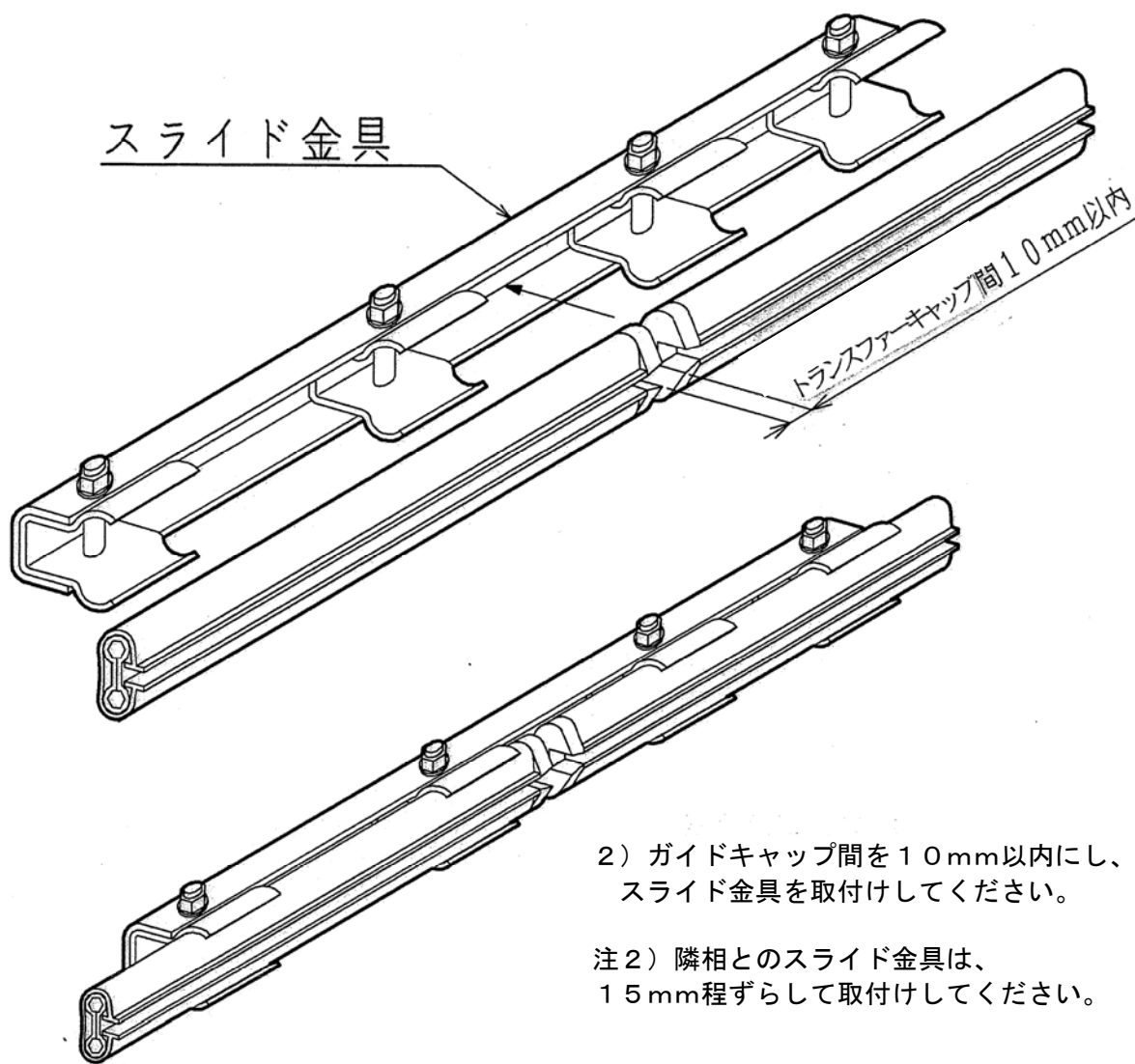
注意

ガイドキャップ、スライド金具の取付けは確実に行ってください。
取付けが不完全な場合、脱線が発生し、給電不能、走行不能、周辺破損、地絡するおそれがあります。



1) ガイドキャップを軽く木ハンマーで叩き、絶縁導体に取り付けします。

注1) ガイドキャップの材質は樹脂です。よって、取り付け時に強く叩いたりしますと破損するおそれがありますので、取扱いには注意してください。



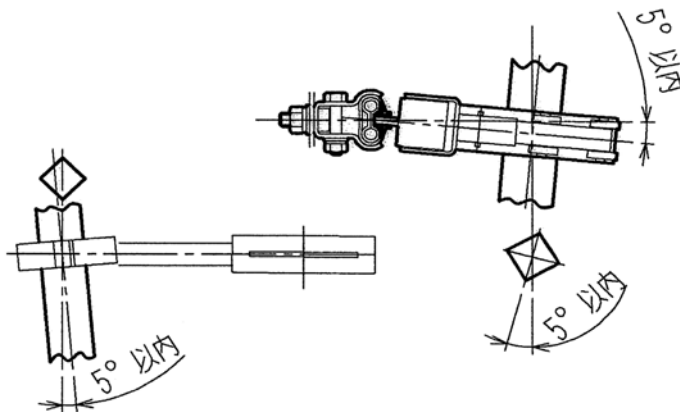
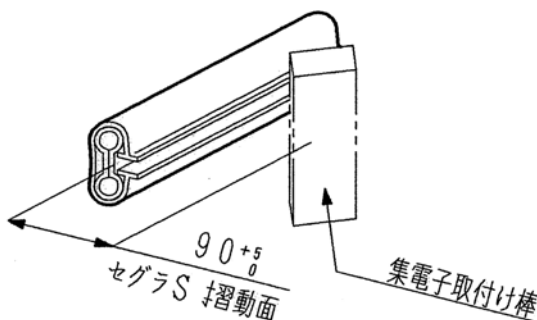
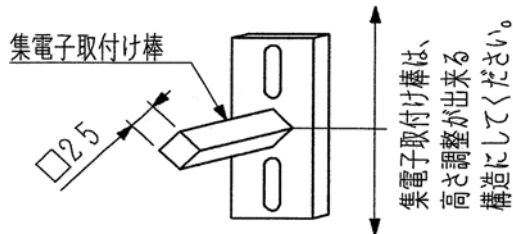
作業手順 13…集電子の取付け



警告

集電子の取付けは確実に行ってください。
取付けが不完全な場合、離線や脱線が発生し、給電不能、走行不能、周辺破損、地絡するおそれがあります。

1. 集電子を取付けする前に！



1) 集電子取付け棒

集電子取付け棒は、高さ調整が出来る構造にしてください。

尚、集電子取付け棒（□25）は、弊社供給外ですので、施工前に用意してください。

集電子取付け棒は、絶縁低下防止の為、絶縁棒を使用されることをお勧めします。

2) 集電子取付け前の注意事項

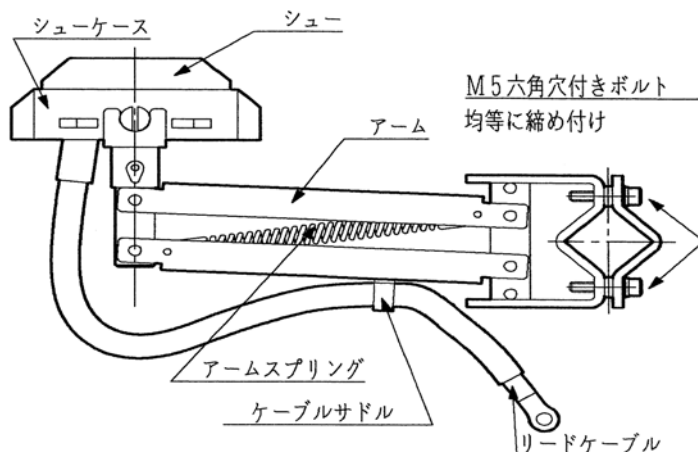
①絶縁導体摺動面から集電子取付け棒中心迄の高さは、

$$90\text{mm} \begin{matrix} +5 \\ -0 \end{matrix}$$

としてください。

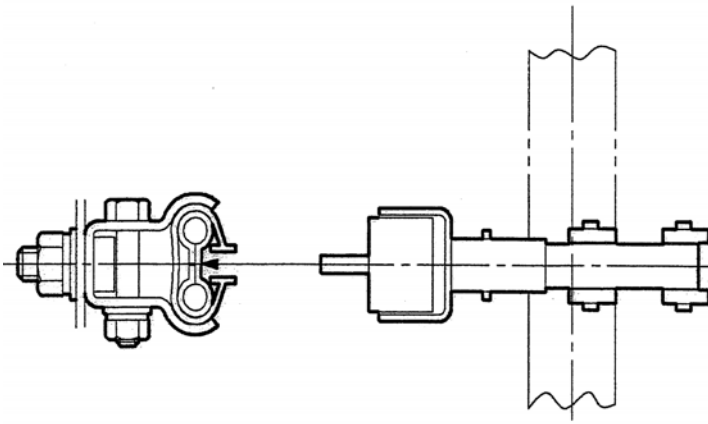
②集電子取付け棒に上下左右の傾きやねじれがないことを確認してください。

2. 集電子の取付け



1) 集電子取付け棒に集電子取付け部の中心と絶縁導体の中心を合わせ、4本のボルトを均等に締めつけてください。

集電子取付け部の中心と絶縁導体の中心の取付け誤差は、±5mm以内としてください。



2) シューを絶縁導体の摺動面に取り付けてください。

3) 集電子のリードケーブルを機器側の端子と接続してください。



3. 最終確認

もう一度確かめてから試運転を！

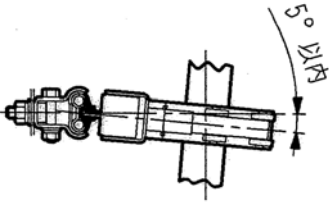
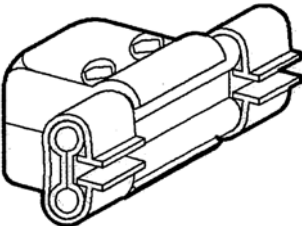
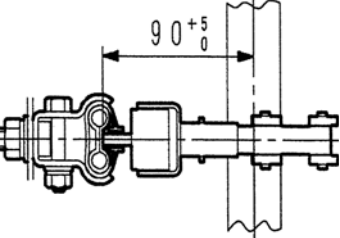
確認項目

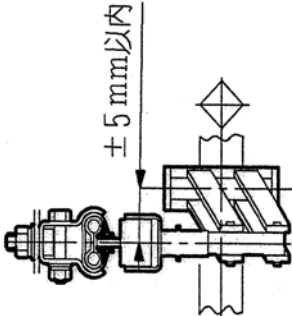
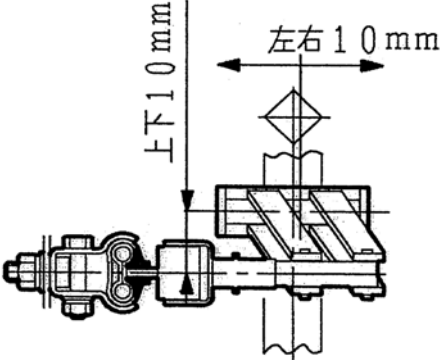
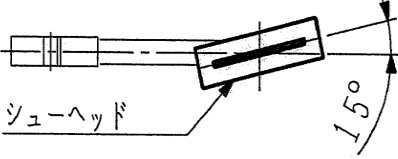
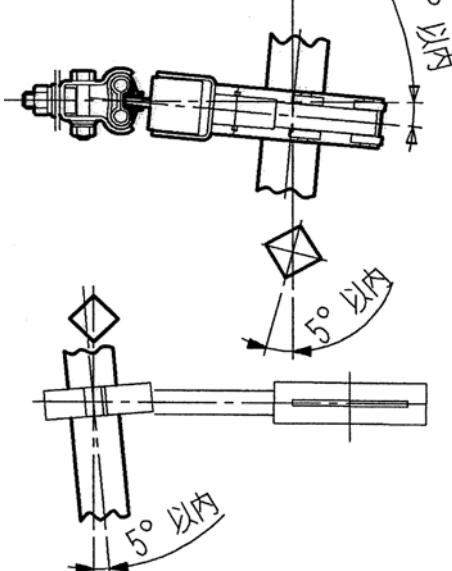
名称	確認事項	セグラ別
絶縁導体	1) 取付け基準点からの寸法は正しいか。	8・A・U・S
	2) 絶縁導体の線間寸法は正しいか。	8・A・U・S
	3) 絶縁導体に傾きはないか。	8・A・U・S
	4) 絶縁導体の絶縁カバーに損傷はないか。	8・A・U・S
接続部	1) ジョイントクランプのボルトは確実に締め付けられているか。	8・A・U・S
	2) ジョイント部品は正しく取付けられているか。	8・A・U・S
	3) ジョイントピンは確実に挿入されているか。	S
エキスパンション	1) 取付け間隔は正しいか。	8・A・U
	2) 伸縮部の隙間は、規定値通りか。	8
	3) スライド側のナット2個は緩めたか。	8
	4) エクスパンションユニットの長さは規定通りか。	8・A・U
ハンガークランプ	1) ハンガークランプ頭部のボルトは確実に締め付けられているか。	8・A・U・S
	2) ハンガークランプに傾きはないか。	8・A・U・S
	3) ハンガークランプ締め付けナット(M6)は正しく締め付けられているか。	8
	4) 碍子付の場合、碍子に損傷はないか。	8・A・U・S
アンカークランプ	1) 取付け位置は正しいか。	8・A・U・S
	2) アンカークランプのボルトは確実に締め付けられているか。	8・A・U・S
	3) 碍子付の場合、碍子に損傷はないか。	8・A・U・S
フィードイン	1) フィードインクランプのボルトは確実に締め付けられているか。	8・A・U・S
	2) フィードインケースは正しく取付けられているか。	8・A・U・S
	3) 給電ケーブルは正しく取付けられているか。	8・A・U・S
	4) 給電ケーブルが、絶縁導体に蛇行等を発生させていないか。	8・A・U・S
集電子	1) 集電子の取付け位置は正しいか。	8・A・U・S
	2) 集電子取付け棒の位置は、規定値通りか。	8・A・U・S
	3) 集電子取付け棒に傾きやねじれはないか。	8・A・U・S
	4) 集電子のアーム動作は正常か。	8・A・U・S
	5) 集電子リードケーブルの接続は正しいか。	8・A・U・S
	6) 横向き取付けの場合、銘板は上になっているか。	8
	7) シューは絶縁導体摺動面に取付けられているか。	8・A・U・S

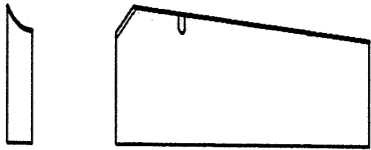
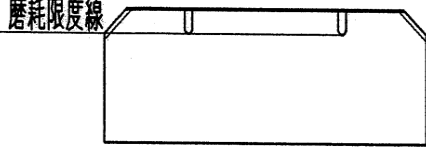
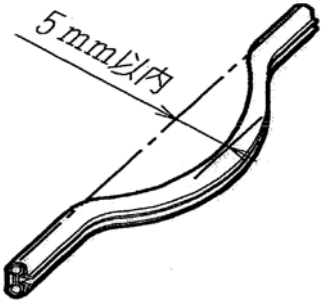
4. 保守、点検

 警告	保守、点検は必ず電気工事士の資格者が実施してください。 感電のおそれがあります。
 注意	機能および安全維持のため、定められた期間内に必ず点検を実施してください。 無保守、無点検で使用すると機器の故障やそれに伴う波及事故が発生するおそれがあります。

1) 保守点検項目表

点検項目	判定基準	点検周期	判定結果による修正方法
1. 絶縁導体に傾きはないか。		年次点検	1) ハンガーブラケットの傾きを修正。 2) 絶縁導体の傾きを修正。
2. フィードインケースは正常に取付いているか。	正常に取付いていること。	年次点検	1) 正規な状態に修正。 修正が不可能な場合は、交換。
3. 絶縁導体摺動面に荒れ（アーク痕、傷）はないか。	集電子の走行や、集電に支障となる傷がないこと。 絶縁カバーに焼損がないこと。	年次点検	1) 紙やすり等で傷を除去。 2) 除去不可能な場合と、絶縁カバーに焼損がある場合は絶縁導体を交換。
4. 接続部の導体に段差および隙間はないか。		年次点検	1) ピンジョイントの場合は、隙間を修正。段差がある場合は交換。 2) フィードインによるジョイントの場合は、ボルトを緩め段差の修正。
5. ジョイント部のカバーは正常に取付いているか。	正常に取付いていること。	年次点検	1) 正常な状態に取付け直し。 修正が不可能な場合は、交換。
6. フィードインランプおよび、端子取付けボルトに緩みはないか。	緩みのないこと。	年次点検	1) 増し締め。
7. ハンガー取付け頭部ボルトに緩みはないか。	緩みのないこと。	年次点検	1) 増し締め。
8. 絶縁導体摺動面から集電子取付け棒までの距離を測定。		年次点検	1) 集電子取付け棒の位置を修正。 2) 絶縁導体の取付け高さを修正。

点検項目	判定基準	点検周期	判定結果による修正方法
9. 集電子取付け位置と絶縁導体のズレ量を測定。		年次点検	1) 集電子取付け位置を修正。 2) 絶縁導体の蛇行を修正。
10. 集電子のアーム動作は良好か、また、スムーズに動作するか。		年次点検	1) 原因を調査し、修正する。 修正が不可能な場合は交換。
11. シューヘッドの動作は良好か。(回転方向)		年次点検	1) 原因を調査し、修正する。 修正が不可能な場合は交換。
12. 集電子取付け棒にねじれや傾きはないか。		年次点検	1) 取付け棒を修正。
13. 集電子取付けボルトに緩みはないか。	緩みのないこと。	月例点検	1) 増し締め。
14. シューケース内に塵埃が堆積していないか。	堆積していないこと。	月例点検	1) 清掃。

点検項目	判定基準	点検周期	判定結果による修正方法
15. シューに偏摩耗は発生していないか。	偏摩耗していないこと。 	月例点検	1) 点検項目10～15項を確認する。 2) シューの摩耗が摩耗限度線に達している場合、または、走行に支障があると判断される場合は交換。
16. シューの摩耗限度線までの寸法を測定。		月例点検	1) 摩耗限界に達している場合は交換。 2) 次回の点検までに摩耗限度に達すると予測される場合は交換。
17. 絶縁カバーに損傷、焼損はないか。	損傷、焼損がないこと。	月例点検	1) 交換。
18. 絶縁導体に蛇行はないか。		日常点検	1) 蛇行近傍ハンガーのM6ナットを緩め、蛇行を修正。修正不可能な場合は絶縁導体を交換。
19. 異音はないか。	異音のないこと。	日常点検	1) 異音の原因を調査し、修正。
20. リードケーブルに損傷はないか。	損傷のないこと。	月例点検	1) 交換

2) 消耗品リスト

消耗品の交換周期の目安と、交換方法

注) 消耗品の交換周期は、施工精度や使用環境により、大きく異なります。
よって、下記表の「交換周期」はあくまでも目安としてください。

	部品名称	交換周期の目安		交換方法
		使用場所	走行距離	
1	シュー	・一般屋内	2,000 km	<p>1. シューをプライヤー等の工具で、シューケースより取外します。</p> <p>100Aの場合 六角穴付ボルトを2回転程ゆるめる</p> <p>2. 圧着端子部のボルトを取外します。 この時、端子の亀裂や破損、ケーブル等絶縁物の亀裂、リードケーブル素線にほつれがないか、確認してください。</p> <p>ネジを取り外す</p> <p>3. シューをシューケースに取付けてください。 4. シューを絶縁導体に取付けてください。</p>
		・多塵屋内	1,000 km	
2	集電子	使用場所	走行距離	1. 作業手順 13を参照。
		・屋内	40,000 km	
		・多塵, 多湿	20,000 km	

5. その他

1. ボルト及びナットの締付けトルク値

各部のボルト及び、ナットは下記のトルク値にて締め付けしてください。
尚、ハンガーランプ側面のナットは適用外とします。

単位 N・m (kgf・m)

ボルト, ナット サイズ	ナット型式	トルク値
M 4	一般六角ナット	1. 3 (0. 13)
	Uナット	1. 4 (0. 14)
M 5	一般六角ナット	2. 5 (0. 255)
	Uナット	3. 8 (0. 39)
M 6	一般六角ナット	4. 9 (0. 50)
	Uナット	6. 5 (0. 66)
M 8	一般六角ナット	10. 8 (1. 10)
	Uナット	15. 7 (1. 60)
M 10	一般六角ナット	23. 0 (2. 35)
	Uナット	31. 3 (3. 20)

締め付ける部材が樹脂の場合

単位 N・m (kgf・m)

ボルト, ナット サイズ	ナット型式	トルク値
M 4	一般六角ナット	0. 6 (0. 06)
	Uナット	0. 7 (0. 07)
M 5	一般六角ナット	1. 3 (0. 13)
	Uナット	1. 9 (0. 19)
M 6	一般六角ナット	2. 4 (0. 24)
	Uナット	3. 2 (0. 32)
M 8	一般六角ナット	5. 4 (0. 54)
	Uナット	7. 8 (0. 78)
M 10	一般六角ナット	11. 5 (1. 15)
	Uナット	15. 6 (1. 56)